

からだ^と向き合う



訪問看護とは？

笠間市立病院 看護師 ^{たけいし みきこ}
(訪問看護ステーションかさま) **武石 美紀子**さん

自宅療養の不安に寄り添う

厚生労働省の調査では、自宅療養を希望されている方が60%以上を占め、「病気や障害があっても住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。しかし、「家族だけで介護や医療的ケアができるだろうか」「一人暮らしだけでは大丈夫？」と不安に思う方も多いと思います。そんな時に私たち訪問看護師が皆様のご自宅へ訪問し、在宅療養のお手伝いをさせていただきます。訪問看護では、地域で暮らすさまざまな年代の方に、関係職種と協力し合って、一人一人に必要な支援を行います。

訪問看護ってどんなことをしてくれるの？

利用者様のご自宅へ訪問し、健康状態の観察、病状悪化の防止・回復、療養生活の相談とアドバイス、リハビリテーション、点滴、注射などの医療処置、痛みの軽減や服薬管理などを行っています。主治医・ケアマネジャー・訪問薬剤師の方々と連携をしながら在宅療養を支援しています。

また、訪問看護ステーションかさまでは24時間緊急体制で、何かあった際には連絡をいただき、電話での状況により緊急訪問も行っていきます。24時間いつでも訪問看護師と連絡が取れるということで、利用者の皆様やご家族から安心していただいています。

住み慣れた地域で最期まで

当ステーションでは当院で行っている訪問診療と連携をしながら終末期看護も行っています。我が家へ帰りたい、最期の日には我が家で迎えたい、家族みんなと住み慣れた我が家で一緒に居たい、という利用者様の思い、そしていつもそばで寄り添ってあげたい、最期は好きなこの家で家族みんなと生活したい、というご家族の思い。両者の思いに寄り添い、大切な最期の時間を私たち訪問看護師がお手伝いさせていただけたらと思っています。今回、皆様に訪問看護について知っていただき、住み慣れた地域で障害や病気があっても暮らしたいと思うときにお役に立てれば幸いです。

【問い合わせ】市立病院 TEL.0296-77-0034

不測の事態に備える

今年に入り「新型コロナウイルス」の流行が広がり、他人事であったニュースが徐々に自分の生活に関係し、多くの方が身近な不安に感じたと思います。

「感染の不安」「学校の休校」「仕事や収入への影響」「経済への影響」…このような事態が起きようとは、誰も想像していなかったと思います。

【不測の事態への備え】を、今一度考えてみてはいかがでしょうか。

私たちの取り扱う保険では、万が一の入院や死亡に備える「医療・生命保険」や万が一の支出に備えるために「積立型の保険」が利用されています。『やさしい保険プラザ友部スクエア店』では、**無料相談**を承っておりますので、お気軽にご相談ください。

やさしい保険プラザ 友部スクエア店

笠間市住吉1364-1 (伊勢甚友部スクエア内)

☎ 0120-650-121



お気軽に
ご相談ください